

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2017年5月13日（土）～14日（日）

@サンポートホール高松、高松シンボルタワー、JR ホテルクレメント高松

ワークショップ 29	
企画名	プライマリ・ケア医のための小児在宅医療・療育～実践編：発熱、痙攣～
日時	2017年5月14日（日） 10:55～12:25
会場	第6会場（サンポートホール高松 ホール棟 7F 第3リハーサル室）
企画責任者	島崎 亮司（地域医療振興協会 シティタワー診療所）
定員	48名
開催の目的・概要	
<p>【開催の目的】 小児在宅医療・療育を行う上で遭遇しやすい兆候を学び理解を深めることでプライマリ・ケア医における小児在宅医療・療育の実践に役立てる</p> <p>【概要】 プライマリ・ケア医であるあなたの診療所に小児在宅医療・療育の依頼が来たら受けますか？断りますか？第7回プライマリ・ケア連合学会で開催した入門編に引き続き今回は実践編のワークショップです。実際に小児在宅医療・療育を開始した際に出会うことが多い症状に対して、プライマリ・ケア医としてどのように対応するかを学びます。今回のテーマは「発熱」と「痙攣」です。 小児在宅医療・療育の対象となる患者さんの多くは人工呼吸器などの医療機器を使用しており、呼吸器感染症などが生じやすい状態です。さらに重症心身障害児の熱の原因として感染症以外の要因も様々あります。 重症心身障害児では中枢神経疾患を併せ持つことも多く痙攣で難渋することも経験します。緊急時の対応や専門医への紹介、抗痙攣薬の管理など小児在宅医療・療育独自の悩みも存在します。 そこで今回はケーススタディを通して小児在宅医療・療育の中でプライマリ・ケア医が知っておくべき病態や特性、プライマリ・ケア医の役割と病院紹介へのコツを学びましょう。 本ワークショップでは小児在宅医療・療育をまだ開始していない方、開始したけれどまだまだ経験不足、という方を対象とします。なお前回開催した入門編を受講されていない方でも受講可能です。</p>	